



ケーヒン PD22 キャブレターキット 取扱説明書

Rステージ、レギュラーヘッド専用

商品番号	: 03 05 0112 (キャブレターキット)
	: 03 02 035 (マニホールドセット)
適応車種及びフレーム番号	
モンキー	: Z50J 1300017~
ゴリラ	: Z50J 1300027~
モンキーBAJA	: Z50J 1700001~

- ・この度は、弊社製品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。
- ・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

ご使用前に必ずお読み下さい

取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。

当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。

製品を加工等された場合や取り付けられた場合は、保証の対象にはなりません。

他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。

当キャブレターキットには、STDエアクリーナーの取り付けが出来ません。

エンジン内部に水分が入り込んだ場合エンジン不調の原因となりますので雨天中の走行はおひかえ下さい。又、洗浄時等はキャブレターに水が掛からないようビニール等で覆って下さい。

当製品のキャブレターは、下記の状態でお荷しております。使用部品に応じたセッティングをする必要があります。個々のエンジンに合ったセッティングを行って下さい。

上記適応車種にあったホンダ純正サービスマニュアルを必ず参照し確実に行って下さい。

スタンダードスロットルハウジング使用時フレーム番号1300017~1510400までの車両は、スロットルバルブが全開にならない為、別売りのハイスロットルに変換するかスロットルパイプの加工が必要となります。(P.3加工図参照)又、上記フレーム番号の車両で遠心クラッチ車両は、同梱のスロットルケーブルが取り付け出来ません。別売りのハイスロットルに変換をお願い致します。

注意 この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- ・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に行って下さい。(ボルト、タップ部の破損および脱落の原因となります。)
- ・作業は、必ずエンジンおよびマフラーの冷間時(35以下)に行って下さい。(火傷の原因となります。)
- ・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)

警告 この表示を無視した取り扱いをすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

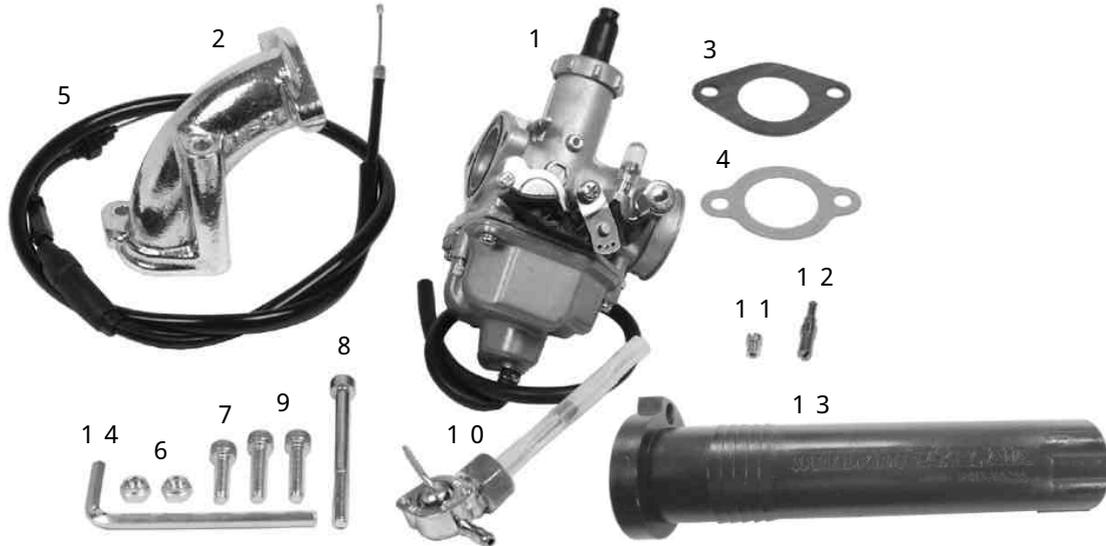
- ・技術、知識等が無い方は、作業を行わないで下さい。(部品破損等の原因により、転倒、事故につながる恐れがあります。)
- ・走行前には、必ず各部の取り付け状態を点検し、緩み、ガソリンの漏れ等がないかを確認して下さい。又、走行中異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停車させ異常箇所の点検を行って下さい。(そのまま、走行すると事故につながる恐れがあります。)
- ・エンジンを始動する場合は、必ず換気の良い場所で行って下さい。密閉した様な場所では、エンジンをかけないで下さい。(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
- ・取り付け作業は、車両を安定させた状態で行って下さい。(車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
- ・ガソリンは、非常に引火しやすい為、一切の火気を避け燃えやすい物が回りに無い事を確認して下さい。又、気化したガソリンの滞留は、爆発等の危険性がある為、通気の良い場所で作業を行って下さい。

性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品および価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。

クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象とありません。

この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいますようお願い致します。

~ 商 品 内 容 ~



番号	部 品 名	個数	リペア品番	入数
1	キャブレターASSY.	1	03 05 0098	1
2	インレットパイプ	1	17113 GEF T01	1
3	キャブレターガスケット	1	16210 GEF T01	1
4	インレットパイプガスケット	1	00 03 0009	3
5	スロットルケーブルCOMP. 810mm	1	09 02 0081	1
6	ロックナット 6mm	2	00 00 0533	10
7	ソケットキャップスクリュー 6×20	1	00 00 0043	10
8	ソケットキャップスクリュー 6×70	1	00 00 0081	2
9	ソケットキャップスクリュー 6×25	2	00 00 0089	10
10	フューエルコック	1	03 03 001	1
11	メインジェット #105	1	00 03 0021	1
12	スロージェット #42	1	00 03 0140	1
13	スロットルパイプ	1	09 02 0303 (ラバーグリップ付)	1
14	六角棒レンチ 5mm	1		

出荷時キャブレター状態

メインジェット	#95
スロージェット	#38
ジェットニードル	E2051G
クリップポジション	4段目
スロットルバルブ	74B
エアスクリューオープニング	1 1/4

印はマニホールドセットの内容を示しています。

リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。予めご了承下さい。尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいませお願い致します。

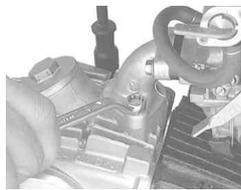
~ 取 り 付 け 要 領 ~

セット内容を、ご確認ください。

(取り付け準備)

△注意：エンジン、マフラーが冷えていることを確認する事!!
車両を安定させる事!!

1. 車両がゴリラ、モンキーBAJAの場合は、シートを外し、フューエルタンク内のガソリンを抜き取り、フューエルコックを閉じてキャブレター側のフューエルホースを抜きフューエルタンクを外します。
2. フューエルコックが閉じていることを確認してキャブレターのドレンコックを開きフロートチャンバーからガソリンを受け皿に抜き取ります。



3. インレットパイプ締め付けボルト、エアクリーナーマウントボルトを外し、スロットルバルブをキャブレターから取り外しエアクリーナーBOX、インレットパイプごとキャブレターを取り外します。インテークポート内に異物等が入らないよう注意して下さい。
4. スロットルバルブをキャブレターから取り外し、スロットルバルブとスロットルケーブルを分離し、スロットルケーブルからトップカバーを抜き取ります。

5. スロットルハウジングのパンスクリューを外し、スロットルケーブルを抜き取ります。汚れ、古くなったグリスを拭き取ります。スロットルハウジング、パンスクリューは再利用しますのでなくさないように注意して下さい。



6. エアクリーナーマウントボルトでアース線をフレームに止める。

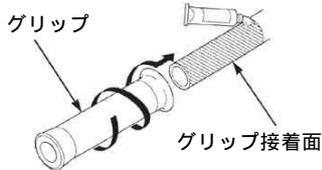


7. 取り外した部品を袋等に入れ保管します。

(取り付け)

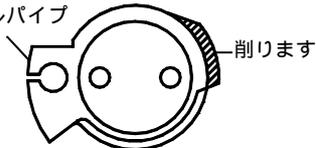
1. スロットルハウジングを外し、ロア側スロットルハウジングからノーマルのスロットルケーブルを外し、キット内のスロットルケーブルを取り付けます。
フレーム番号 Z50J 1600008 ~ の車両は、キット内のスロットルパイプに変更する為、ノーマルのスロットルパイプからグリップを外し、キット内のスロットルパイプに取り付けます。

・グリップの内周面、スロットルパイプの外周面の汚れを取り除き、接着面に“HONDA ボンドA”又は“セメダイン#540”を薄く塗布し、接着剤が乾かないうちにグリップを回しながら取り付けます。



フレーム番号 Z50J 1300017 ~ 151400 までの車両は、スロットルパイプのフランジ部、図に示す斜線部を削って下さい。

スロットルパイプ

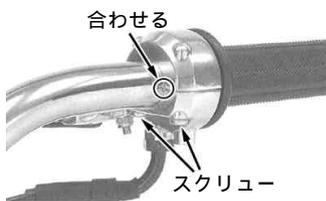


2. スロットルパイプフランジ部、ケーブル巻き取り部にグリスを塗布し、スロットルケーブルとスロットルパイプを接続し、スロットルハウジングのスクリューを取り付け、前方のスクリューを締め付けた後、後方のスクリューを締め付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。

トルク：4.2 N・m

(0.4 kgf・m)



3. スロットルケーブルを無理が掛からない様取り回し、ロックナットを締め付けます。



4. PD22キャブレターのフロートチャンバーを外し、メインジェット及びスロージェットをキット内の付属のジェットに取り替えます。



5. フロートチャンバーを元通りに取り付けます。
6. PD22タイプキャブレターのトップカバーを外しスロットルバルブスプリング、スロットルバルブを取り外します。
7. キャブレターとインレットパイプの間にキャブレターガスケットを挟み、ソケットキャップスクリュー6×2.5 2本、ロックナット2個で取り付け規定トルクで締め付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。

トルク：10 N・m (1.0 kgf・m)



8. 付属のスロットルケーブルを無理が掛からないようにキャブレターまで取り回します。スロットルケーブルにキャブレタートップを取り付けスロットルバルブスプリングを圧縮した状態でインナーケーブルをスロットルバルブに取り付けます。



9. スロットルバルブの切り欠き部をスロットルストップスクリューに合わせてキャブレターに取り付けます。



10. シリンダーヘッドとインレットパイプの間にインレットパイプガスケットを挟み、ソケットキャップスクリュー6×2.0 2本を規定トルクで締め付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。

トルク：10 N・m (1.0 kgf・m)



フレーム等の誤差により、キャブレターとフレームが干渉する場合があります。その場合は干渉部分を削り取って下さい。



11. スロットルグリップ部で5 mm程度の遊びが出来るようにスロットルケーブルのアジャスターを調整します。スロットルを数回スナップさせ引っかかりやスロットルバルブの全開状態を確認します。ステアリングを左右にいっぱい切った状態でスロットルに遊びがある事を確認して下さい。



12. フューエルタンクを取り外していた場合、フューエルコックを付け替えて(規定トルク：5~6 N・m (0.5~0.6 kgf・m))、フューエルタンクを取り付け、シートを取り付けます。



13. フューエルコックの方向、フューエルチューブの長さを調整し、フューエルコック、キャブレターに差し込みチューブクリップを取り付けます。フューエルコックを開き各部からのガソリン漏れの有無を確認します。(コックを開いたまま長時間放置しないで下さい。)



14. チョークレバーを引きエンジンを始動させ各部からの吸気漏れの有無を確認します。チョークレバーを徐々に戻し、回転がスムーズになるまで暖機運転を行いチョークレバーを完全に戻します。エンジン暖気後アイドル回転数が高い場合は、スロットルストップスクリューで調整します。

15. 安全な場所で十分注意し、個々の車体に合ったセッティングを行って下さい。

株式会社 SPECIAL PARTS 武川

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号
TEL 0721 25 1357 FAX 0721-24-5059
お問い合わせ専用ダイヤル 0721 25 8857
URL <http://www.takegawa.co.jp>

キャブレターセッティング要領

- ・キャブレターがエンジンに適合していない時のエンジンに現れる不調の原因は、混合気が濃すぎるか薄すぎるかの2つの原因に絞られます。
- ・エンジンに現れる不調の現象は次の通りです。

混合気が濃すぎる時	混合気が薄すぎる時
<ul style="list-style-type: none"> ・爆発音が重い感じで断続する。 ・チョークを作動すると、より調子が悪くなる。 ・エンジンが暖機すると調子が悪くなる。 ・クリーナーを外すと調子が良くなる。 ・排気ガスが濃い。(黒い) ・プラグが黒くくすぶる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・エンジンがオーバーヒート気味になる。 ・チョークを作動すると、調子が良くなる。 ・加速が悪い。(息付きをおこす) ・回転変動があり、力がない。 ・プラグが白く焼ける。

キャブレターのセッティングは暖機後に行い、走行確認を行って下さい。又、プラグは適正な熱価の物をご使用下さい。エンジン回転後、スロットル開度等により、どの範囲でエンジンが不調になるかを考慮し、下記の要領でセッティングして下さい。

ジェットニードル (スロットル開度 1 / 4 3 / 4)

加速時、スロットルに回転がついて来るか、来ないか

- ・息付きをする場合、濃くして下さい。
- ・回転の上がりが高く、排気ガスが黒い場合は薄くして下さい。

この開度での混合比は、Eリングを入れる溝の段数で調整出来ます。Eリング位置が1段目から5段目へ下がるにつれ混合気は濃くなります。



メインジェット (スロットル開度 3 / 4 4 / 4)

この開度での混合比は、ジェットの番数を変えることにより調整出来ます。番数を上げると混合気が濃くなります。仕様等を考慮の上、最高回転数(最高速度)の得られる物を選んで下さい。

パイロットジェット (調整前にはまずエアスクリューを調整して下さい。)

- ・エアスクリューの戻し量 3 .0 回転以上の場合、パイロットジェットを小さくして下さい。
- ・エアスクリューが全閉になる場合は、パイロットジェットを大きくして下さい。
- パイロットジェットはアイドルリングから低速運転時に、エンジン回転数がスムーズに立ち上がるか否かを確認します。
- ・回転上昇に谷が出来る場合、パイロットジェットが小さ過ぎます。(アイドル回転時)
- ・排気濃く排気音が重い場合、パイロットジェットが大き過ぎます。(アイドル回転時)
- ・パイロットジェット交換時には、エアスクリューの再調整が必要です。

エアスクリュー

エアスクリューはスロー系の空気流量を調整します。(アイドルリング時)

- ・エアスクリューを右に回す 混合気が濃くなる。
- ・エアスクリューを左に回す 混合気が薄くなる。

標準戻し回転数(1.5回転)に合わせ、左右に1/4 1/2回転ずつ回しエンジン回転数が最も高くなる位置に調整します。アイドルストップスクリューで安定したアイドル回転まで下げ、もう一度エアスクリューで最も回転数が高くなる位置に調整します。

気圧、気温、湿度によるセッティングへの影響

- ・高地等で気圧が下がると空気密度が下がり、キャブレターへ吸入される空気量が減少します。この為、低地で調整されたキャブレターは混合気が濃くなります。
- ・非常に気温の低い天候下では、空気密度が上がる為、キャブレターの混合気は薄くなります。
- ・雨天の場合は湿度が上がる為、空気密度が下がりキャブレターの混合気は濃くなります。

性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で商品および価格は予告無く変更されます。あらかじめご了承下さい。

クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた商品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。

この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいませお願い致します。

株式会社 **SPECIAL PARTS 武川** 〒584-0069 大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号
TEL 0721-25-1357 FAX 0721-24-5059 URL <http://www.takegawa.co.jp>
お問い合わせ専用ダイヤル 0721 25 8857